

特別展示 陶芸家 小島憲二作品

史跡旧崇広堂

芭蕉翁生誕370年の記念に、伊賀の陶芸家小島憲二氏が制作し、2024年に伊賀市へ寄贈された作品を展示します。



作品テーマ 俳句 「蚕飼する人は古代のすがた哉」／曾良

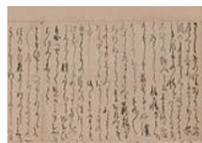
特別展示 書家 伊藤潤一作品

史跡旧崇広堂

芭蕉翁生誕380年記念事業「ニュートロ芭蕉祭」のステージにおいて、音楽に合わせ即興で屏風に描いた書のパフォーマンス作品「不易流行」を展示します。

特別展示 「芭蕉筆『更科紀行』草稿」(伊賀市蔵)〈複製〉 入交家住宅

伊賀にゆかりのあるアーティストの表現するART作品と、松尾芭蕉との時代を超えたコラボレーションとして「芭蕉筆『更科紀行』草稿(伊賀市蔵)〈複製〉」を特別に展示します。



会場&アクセス VENUE & ACCESS

藤堂藩 藩校跡 史跡旧崇広堂

〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内 78-1

1930年(昭和5年)「旧崇広堂」として、国の史跡に指定されました。全国的にも僅かに残る江戸時代の藩校跡、赤門の愛称で親しまれています。崇広堂は文政4年(1821)に伊勢津藩10代藩主・藤堂高兎(とうどう たかさわ)の時代に伊賀・大和・山城の領地に住む藩士の子弟を教育するため、津の藩校有造館の支校として建てられたもので、講堂は創建当時のままでに残っています。



登録有形文化財 入交家住宅

〒518-0859 伊賀市上野相生町 2828

入交家住宅は寛政年間(1789~1800)の頃、入交勘平(いりまじり かんぺい)が拝領した屋敷で、県内唯一、武家屋敷の特徴である長屋門が残されています。土間、主屋、座敷など、どこをとっても映画のワンシーンに出てきそうな武家屋敷の趣が色濃く出ています。往時を偲び武士の暮らした居住空間を体感してください。



【アクセス】公共交通機関でお越しの方

- JR線 JR 関西本線伊賀上野駅から、伊賀鉄道伊賀神戸方面乗換。上野市駅下車 徒歩5分~10分
 - 近鉄線 近鉄大阪線伊賀神戸駅から、伊賀鉄道上野方面乗換。上野市駅下車 徒歩5分~10分
 - バス 名鉄バスセンター発三重交通高速バスで上野市駅下車徒歩5分
- お車でお越しの方
- 【大阪・名古屋方面から】
名阪国道上野東IC下車、国道422号線を北へ約1km
※史跡旧崇広堂は駐車場がありませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください。



芭蕉翁生誕380年記念工芸美術特別展
ART & CRAFT SPECIAL EXHIBITION

芭蕉
×
ART

特別展覧会



伊賀陶芸家 小島憲二 / 作 俳句「蚕飼する人は古代のすがた哉」／曾良

現代のアーティストがARTで表現する「芭蕉の想い」

2025.3.1 [土] - 3.16 [日] 9:30-16:30 火曜日休館

入場
無料

[特別公募展] 会場 史跡旧崇広堂 三重県伊賀市上野丸之内 78-1
内容 入賞・入選作品 19点

[伊賀特別展] 会場 入交家住宅 三重県伊賀市上野相生町 2828
出展 伊藤 尚美 岩名 泰岳 小島 憲二
谷本 貴 藤原 康博 元永 紅子

主催/芭蕉翁生誕380年記念事業実行委員会
事務局 伊賀市企画振興部文化振興課 0595-22-9621
主管/公益財団法人伊賀市文化都市協会 0595-22-0511
協力/MORI YU GALLERY

◆この事業は、伊賀市文化振興条例、伊賀市文化振興ビジョンに基づき実施します。



俳聖松尾芭蕉のふるさと「伊賀」にゆかりのある6人のアーティストが、芭蕉さんへの想いを込めた創造性溢れる作品で武家屋敷入交家住宅の空間を演出します。

ARTIST PROFILE

伊藤 尚美 Naomi Ito 水彩画家・テキスタイルデザイナー

2002年より「Naomi Ito Textile nani IRO」水彩を用いたテキスタイルデザインとプロデュースをスタート。制作色柄は1,300種を超え、フランス、フィンランドなど海外30か国以上に展開。国内外の書籍装丁、TVCM、絵本や広告等への作品提供。子供から大人までを対象にした水彩WSも行っている。ADC賞、TDC賞、ブルノ国際グラフィックデザイン・ビエンナーレほか入選多数。伊賀市在住、伊賀にて「朝露」主宰。

岩名 泰岳 Yasutake Iwana 絵画

1987 三重県伊賀市生まれ
2004 元永定正に抽象画を学ぶ
2010 成安造形大学造形学部造形美術科洋画クラス卒業
2010 アートアワード-キョ-丸の内 2010 準グランプリ
2010-12 デュッセルドルフ芸術アカデミーで絵画を学ぶ
2019 「いのち耕す場所」青森県立美術館
2020 「ステイミュージアム」三重県立美術館
2023 「VOCA展 2023」上野の森美術館（東京）

小島 憲二 Kenji Kojima 陶芸家

1953 愛知県知多生まれ
1979 伊賀丸柱にて古窯跡地に築窯
2021 沖縄壺屋焼物博物館企画 33年の足跡「伊賀小島憲二陶展」ー沖縄に遺したもの
伊賀市ミュージアム青山讃頌舎 古伊賀憧憬「小島憲二の眼と手」
2024 第23回三重県文化賞文化功労賞受賞

藤原 康博 Yasuhiro Fujiwara 現代美術

1968 三重県松阪市生まれ 伊賀市在住
1992 多摩美術大学美術学科絵画科油画専攻卒業（東京）
2002 チェルシー・カレッジ オブアート&デザインマスターオブアートファインアート修了（ロンドン）
MORI YU GALLERY（京都）日本橋三越本店 6階コフレポラリ-ギャラリーなど、国内外で個展グループ展多数
パブリックコレクション 国立国際美術館（大阪）、三重県立美術館（三重）、ティッセン-ボルネミッサアートコフレポラリ-（ウィーン）、和庭博物館（ソウル）ハセ銀行（ソウル）

谷本 貴 Takashi Tanimoto 陶芸家

1978 三重県伊賀市に谷本景の長男として生まれる
1997 同志社大学文学部美学及び芸術学専攻入学
2002 京都府立陶工高等技術専門校入学
2003 森正氏に師事
2004 イタリア留学
2005 帰国後、伊賀市にて作陶
2021 キャララ-ラホ(愛媛)、京都高島屋三人展 全国百貨店・ギャラリー-他個展多数 IAC 会員

元永 紅子 Beniko Motonaga

兵庫県宝塚市出身
1991 大阪芸術大学芸術学部美術学科卒業
1992 初個展ノ信濃橋画廊・大阪
1999 SILVER JEWELLERY の初個展ノマロエ-京都 第17回朝日現代クラフト展 優秀賞
国際クラフト展-伊丹- グットマテリアル賞
2020 三重県伊賀市に制作拠点を移す
2024 伊賀市丸柱にアトリエを移し GALLERY IRO HA を開廊
その他、大阪・神戸・横浜など各地で個展・グループ展 多数

芭蕉×ART

現代のアーティストがARTで表現する「芭蕉の想い」

不易流行

1644年に三重県伊賀市で生まれた「俳聖 松尾芭蕉」。芭蕉さんの遺した言葉に「新しきは俳諧の花なり」という言葉があり、常に新しさを求める精神を持ち、「不易流行」というその精神は、現代のアートにも通じるものがあります。

松尾芭蕉の生誕380年を機に、生涯を創作活動に捧げたその精神を受け継ぎ、彼の遺した俳句や理念から創造する現代アート（工芸美術）の作品を募集し、「芭蕉×ART」特別公募展と、伊賀を代表する6名のアーティストによる特別展を芭蕉のふるさと「伊賀」で開催します。

それぞれのアーティストが、芭蕉さんの俳句や思想などからインスピレーションを受けた創造性溢れる作品をお数々をじっくりとお楽しみください。

特別公募展 ART & CRAFT SPECIAL PUBLIC EXHIBITION

全国各地から応募のあった工芸美術作品から19作品が選ばれ、歴史情緒あふれる江戸時代の藩校「史跡旧崇広堂」の和の空間を彩ります。

現代のアーティスト達が、陶芸、漆芸、染織、木竹芸、ガラスと、様々な表現で、芭蕉さんへの想いを込めた創造性溢れる作品の数々をお楽しみください。

最優秀賞	廣瀬 典子	木竹芸（三重県）		
優秀賞	泉谷麻紀子	漆芸（香川県）		
	小田橋昌代	ガラス（三重県）		
	森田 隆司	陶芸（京都府）		
	やまだえりか	染織（京都府）		
	山出 勝治	染織（京都府）		
入選	芦田 俊一	木竹芸（兵庫県）	石田 季子	羊毛フェルト・真鍮（神奈川県）
	大塩 正	陶芸（奈良県）	KOUGETSU	陶芸（三重県）
	岸田 怜	陶芸（長野県）	樹田 明子	染織（京都府）
	黒田沙知子	漆芸（埼玉県）	鈴木 まこと	陶芸（沖縄県）
	秦 一郎	陶芸（三重県）	森田 高正	陶芸（埼玉県）
	ゆきあかり	ガラス（神奈川県）	山村 榛菜	陶芸（埼玉県）
	吉田 里香	陶芸（京都府）		